

令和4年度 全国学力・学習状況調査  
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立白河第四小学校長

令和4年4月19日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語、算数、理科の3教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	65.6%				○	
算数	63.2%					○
理科	63.3%					○

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	69.0%					○
我が国の言語文化に関する事項	77.9%					○
話すこと・聞くこと	66.2%	○				
書くこと	48.5%	○				
読むこと	66.6%	○				

【考 察】

- 漢字を正確に書いたり、文中で正しく使用したりすることができました。全校児童で実施している学習タイムでの基礎・基本の定着を図る取組や、家庭学習の習慣化、自主学習の推進が効果的だったと考えられます。
- 互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、自分の考えをまとめるという問題に課題がみられました。国語科に限らず、話し合いの場面では、互いの立場や考えを聞き、様々な視点から検討した上で、自分の考えを相手に伝えたり必要なことを質問したりする力を育てるようにしていきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	69.8%					○
図 形	64.0%					○
変化と関係	51.3%			○		
データの活用	68.7%					○

【考 察】

- 乗法や除法の立式、計算がよくできていました。なぜそのような式になるのかを考えさせる授業を大切にしてきたことや、タブレットドリルを繰り返し活用し、基礎基本の定着を図ってきたことが効果的だったと考えられます。
- 数量（飲み物の量）が変わっても割合（飲み物の濃さ）は変わらないことを理解する問題に課題がみられました。「日常の具体的な場面」や「図や表」を相互に関連付けながら、筋道を立てて考え、問題を解く学習を意識して指導をしていきます。

【理科：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
エネルギー	51.6%					○
粒子	60.4%					○
生命	75.0%		○			
地球	64.6%					○

【考 察】

- メスシリンダーの名称や水蒸気という言葉を問う問題に課題がみられました。実験や観察を通して科学的な言葉や概念を正しく理解させ、説明できるようにしていきます。
- 昆虫の育ち方と食べ物について気づいたことをもとに、問題を見いだすという問題に課題が見られました。多面的に分析して考察することができるように、複数の結果を基に考察について話合う場面を多く設けていきます。